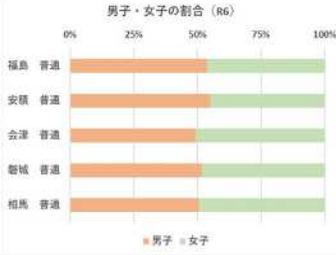
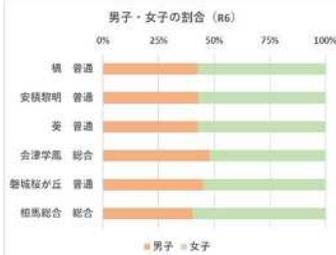
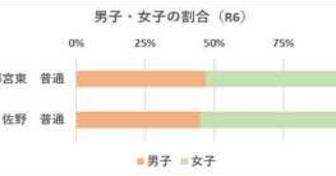


別添5 他県への調査（措置報告書14ページ「3(5) 歴史や伝統の尊重と共学化の両立」関係）

	平成13年度 県立高校 学校数			単独での共学化		複数校を統合して新校を共学化		令和5年度 県立高校 学校数		
	男女別学校		全県立 高校数	男子校を 男女共学化	女子校を 男女共学化	男子校と女子校 (一部男女共学校を含む)	男子校と男女共学校 又は 女子校と男女共学校	男女別学校		全県立 高校数
	男子校	女子校						男子校	女子校	
宮城	22		81	6	5	男子校5、女子校5、 男女共学校1 →5	0	0		66
	11	11						0	0	
秋田	7		52	0	3	0	女子校4、男女共学校5 →4	0		43
	0	7						0	0	
福島	7		85	3	4	0	0	0		77
	3	4						0	0	
栃木	19		69	3	3	男子校2、女子校2 →2	女子校1、男女共学校1 →1	8		60
	9	10						4	4	
群馬	23		67	0	2	男子校3、女子校3 →3	女子校3、男女共学校3 →3	12		59
	9	14						6	6	
千葉	13		142	0	6	0	女子校5、男女共学校5 →5	2		121
	0	13						0	2	

※令和5年度学校数は、共学化に伴う統廃合以外の要因による変動を含む。

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率
宮城	<p>「県立高校将来構想」（平成13年4月～平成22年3月）において男女共学化を推進 <男女共学化の推進についての基本方針> 男女別学校については、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、全て男女共学化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会や合唱コンクールなどで、男女が協力し合って行事に取り組んでいる。応援練習は伝統を継承し工夫しており、実践での応援活動も盛り上がっている。 ・ 男女が様々な価値観に触発され、進路希望が多様化し進路範囲に広がりが出た。 ・ 入学の機会均等が図られる。学校の選択の幅が広がる。(特に郡部) ・ 少子化において学校の教育力を維持する。 ・ リーダーシップを発揮する生徒が増加し、積極的で活発な発言がみられる。 ・ 男女が気遣い、授業態度が落ち着いている。地道に努力する女子の学習態度が男子に良い影響を与えている。 ・ 互いに励まし、目標に向かって活発に活動している。男女の合同練習が成果を上げている。 ・ 生徒会が明るく行動的になった。 ・ 男女ともに落ち着いた生活態度であり良好 ・ 異性間のトラブルが生じる。 ・ 異性の目が気になり落ち着かない。 ・ 敷地が狭い旧女子校を中心に部活動の制約 ・ 施設改修・改築が必要 	<p><男子校→男女共学校（1学年）></p> <p><女子校→男女共学校（1学年）></p>
秋田	<p><第五次秋田県高等学校総合整備計画> ① 共学化は、各学校や地域の実情等を考慮して推進する方向で個々に検討する。この場合に、単に男女募集とするのではなく、これまでの伝統を生かしつつ、全く新しい構想に基づいた教育内容を盛り込み、地域の先進的な役割を担う学校づくりをする。 ② 地域によっては、普通課程と職業課程とを併置する総合制高等学校として、統合等も検討していく必要がある。 ③ すべての女子校において、平成22年度までには共学化への具体的なスケジュールを策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女が協力し切磋琢磨しながら勉学や各種教育活動に取り組み、相互理解を深め、互いを尊重することにつながっている。 ・ 普通科だけでなく、専門学科には多くのコースを設置することで、生徒の進路希望に応じて様々な学部への進学や就職にも対応することができる。 	<p><女子校→男女共学校（全学年）></p>

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率
福島	<p>< 県立高等学校改革計画第一次まとめ ></p> <p>1 共学化のねらい</p> <p>21世紀において福島県が創造的で活力ある社会であるためには、地域づくりをはじめ、あらゆる分野で男女が共に参画し、それぞれが持てる能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を築いていくことが必要である。そのためには伝統的な性別役割分担意識にとらわれることなく、女性の社会参加と男性の家庭や地域への参加を促し、男女があらゆる分野で協力し合う生き方が求められる。</p> <p>青年期の生徒一人一人にとって高校時代は、様々な体験をとおして人間の在り方や生き方を学び、社会性を身に付けながら自己を確立していく時期である。この時期に男女が共に学び、それぞれの個性を生かした役割を担って協力し、互いに人格を尊重し合いながら充実した学校生活を送る体験は、将来、男女共同参画社会を築いていくうえで大きな意味がある。</p> <p>そこで、本県が策定した「ふくしま新世紀女性プラン」、さらには平成5年の学校教育審議会答申に基づき、県立高等学校の男女共学化を推進する。</p> <p>2 共学化の方針</p> <p>(1) 平成15年度をめどに、すべての県立高等学校を、逐次、男女共学化にする。</p> <p>(2) 共学化にともない諸課題の解決を図るとともに、必要となる施設・設備等の整備を行う。</p>	<p>(県立高等学校改革基本計画(2019年度～2028年度)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共学化した各学校では、学校行事等において男女が競い合って努力する姿が見られた他、学習活動、生徒会活動、部活動等が活性化した。 進路意識の面でも変化が見られ、国公立大学を中心として大学進学等の進路実績も向上した。特に女子においては、全国的な傾向と同様に、大学進学率の向上は顕著である。(特色ある学校・学科の配置における【成果】として記載) 学校の新設や共学化、特色ある学科の設置によって、生徒の適性や進路希望に応じた多様な高校や学科の選択が可能になった。 	<p>< 男子校→男女共学校(全学年) ></p>  <p>< 女子校→男女共学校(全学年) ></p> 
栃木	<p>< 第二期県立高等学校再編計画 ></p> <p>(4) 男女別学校の共学化</p> <p>男女別学校の共学化については、各高校や地域の実情等に応じて行います。</p> <p>◇ 基本的な考え方</p> <p>ア 共学化については、共学校と別学校の共存を望む県民世論にも配慮しながら、各高校や地域の実情等に応じて行います。</p> <p>イ 共学化に当たっては、それぞれの学校が培ってきた特色や教育の成果をできるだけ引き継ぎながら、教育内容の充実を図ります。また、新たな教育内容・方法等を積極的に導入し、より一層、魅力ある学校づくりに努めます。</p> <p>◇ 推進計画</p> <p>ア 別学校の規模が小さくなることにより活力の低下が懸念される場合は、統合によって適正規模を確保するとともに、共学化します。</p> <p>イ 男女別募集定員に片寄りのある地区については、共学化を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇都宮中央女子高校(男女共学 宇都宮中央高校へ)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 男女共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入 野球部など男子部活動を新設 校章は継続して使用、女子制服は特徴を継承 男女共学化に伴い、トイレ、体育館、グラウンド、部室棟などを整備 単位制の導入に伴い、選択科目や少人数授業等に対応できる講義室などを整備 ○ 足利・足利女子高校(男女共学 足利高校へ)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 統合共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入 制服は旧校の特徴を継承(新設立準備委員会において検討) 新校舎を整備(建設中) 	<p>< 男子校→男女共学校(1学年) ></p>  <p>< 女子校→男女共学校(1学年) ></p> 

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率																														
群馬	<p><第2期高校教育改革推進計画> 6 男女共学の推進 ■ 基本的な考え方 男女が共に学ぶことの意義や、性差による制限のない学校選択の保障という観点に加え、性同一性障害や性的指向・性自認に係る生徒への対応の必要性などからも、男女共学化を推進していく必要があります。「群馬県男女共同参画基本計画」を踏まえ、県民の理解を得ながら、今後の高校教育改革の中で、男女共学化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域や関係者の理解を得ながらの推進 	<p><女子校→男女共学校（1学年）></p> <p>男子・女子の割合（R6）</p> <table border="1"> <caption>男子・女子の割合 (R6)</caption> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊勢崎清明</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>太田フレックス</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	学校	男子 (%)	女子 (%)	伊勢崎清明	25	75	太田フレックス	50	50																					
学校	男子 (%)	女子 (%)																															
伊勢崎清明	25	75																															
太田フレックス	50	50																															
千葉	<p><県立高等学校再編計画（平成14年11月策定）> 女子校の共学化 男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を共学化する。 具体的内容 共学化により、普通系学科比率の低い地域において、男子生徒の学校選択肢の拡大を図り、さらに、学校の活性化と魅力ある高等学校づくりを推進する。 女子校13校のうち11校程度を共学化し、残る2校程度については、女子校に進学を希望する生徒に配慮し、学区を県内全域とするなどして存続する。なお、今後の志願者の動向等によっては、必要に応じて共学化を行う。 共学化に当たっては、必要に応じて学校の統合あるいは学科再構成を行い、一部の学校は単位制への転換を行う。 これまでの女子校としての成果を十分踏まえるとともに、選択幅の広い教育課程の編成や多様な学習活動を展開する。 共学化に当たっては、既設の施設設備を活用しつつ必要な整備を行うが、校地の拡張は原則として行わないものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共学化は男女の自然な交流ができ望ましい姿であり、実施した多くの学校で志願確定倍率・大学進学率などの向上、生活指導面での改善、部活動の充実、学校行事の活性化等が見られる。 特に学校数の少ない地域における男女共学化は、男子生徒の学校選択幅の拡大、学校配置の適正化の推進等、総じて地域のニーズに的確に対応したものと見える。 男子生徒の比率が30%以下の学校もあることから、男子生徒が更に魅力を感じる学校づくりに努める必要がある。 	<p><女子校→男女共学校（全学年）></p> <p>男子・女子の割合（R5）</p> <table border="1"> <caption>男子・女子の割合 (R5)</caption> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松戸 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>松戸 芸術</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 普通</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 調理国際</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 服飾デザイン</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>佐原白楊 普通</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>松尾 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>鏡子 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>茂原 普通</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	学校	男子 (%)	女子 (%)	松戸 普通	25	75	松戸 芸術	0	100	佐倉東 普通	45	55	佐倉東 調理国際	0	100	佐倉東 服飾デザイン	0	100	佐原白楊 普通	45	55	松尾 普通	25	75	鏡子 普通	25	75	茂原 普通	0	100
学校	男子 (%)	女子 (%)																															
松戸 普通	25	75																															
松戸 芸術	0	100																															
佐倉東 普通	45	55																															
佐倉東 調理国際	0	100																															
佐倉東 服飾デザイン	0	100																															
佐原白楊 普通	45	55																															
松尾 普通	25	75																															
鏡子 普通	25	75																															
茂原 普通	0	100																															